

一般国道238号 紋別防雪

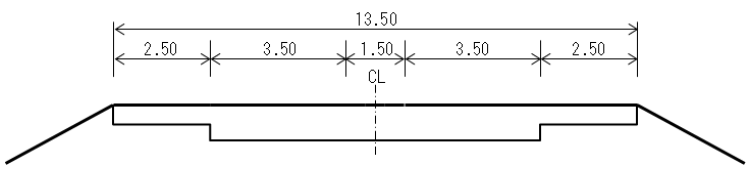
一般国道238号紋別防雪は、オホーツク圏と道北圏を結ぶ路線の地吹雪による視程障害、交通事故の低減及び危険箇所の解消を図り、道路の安全な通行の確保を目的とした、延長15.0kmの防災対策事業です。

位置図



定規図

(単位:m)



計画の概要

- ①起点 ……北海道紋別郡湧別町川西
終点 ……北海道紋別市小向
- ②計画延長……15.0km
- ③構造規格……3種2級
- ④設計速度……60km/h
- ⑤車線 ……2車線
- ⑥事業主体……北海道開発局

経緯

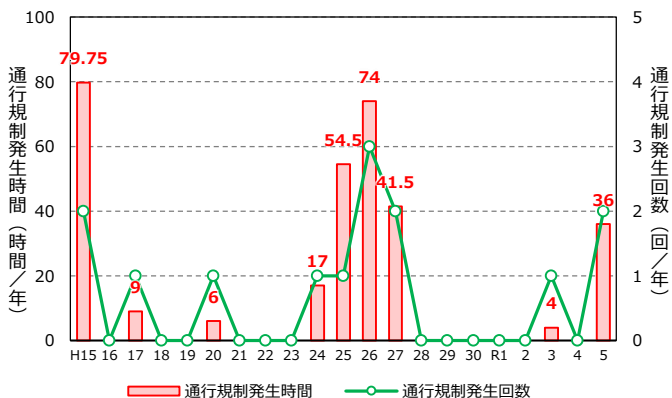
平成20年度 事業化

一般国道238号 紋別防雪

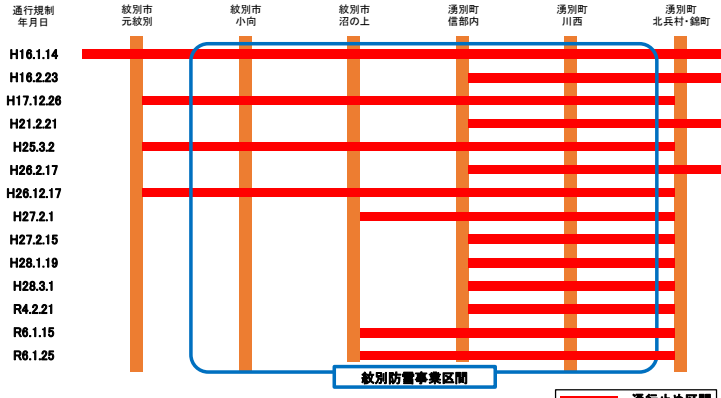
現道の課題（地吹雪）

- ・紋別防雪の事業区間には、「地吹雪」による防災点検要対策箇所が5箇所存在。
- ・平成15年度～令和5年度において、冬季の視程障害（吹雪）による通行止めが約320時間発生。
- ・当該道路の整備により、防災上の要対策箇所が解消され、道路交通の確実性及び安全性の向上が期待。

【「地吹雪」による通行規制の状況（H15～R5年度）】



【「地吹雪」による通行規制の発生区間（H15～R5年度）】



地吹雪による視程障害（小向地区：H25.3.2）

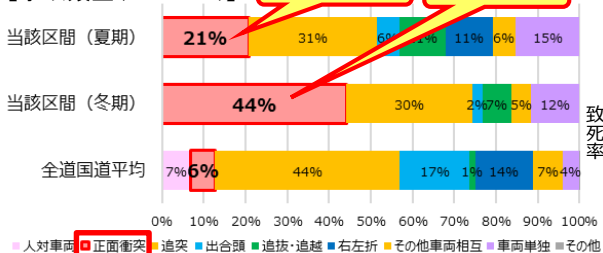


地吹雪で動けなくなった大型車（沼の上地区：H16.1.19）

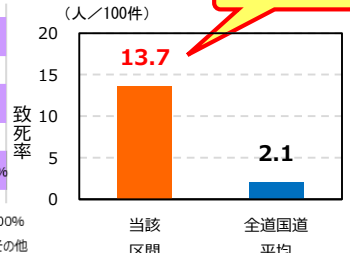
水産品の流通利便性向上

- ・紋別防雪の事業区間では、致死率の高い正面衝突事故の割合が高く、全道国道平均と比較し、夏期で約4倍、冬期で約7倍。
- ・また、致死率は約13.7人/100件と全道国道平均の約7倍。
- ・当該道路の整備により、致死率の高い正面衝突事故の低減が見込まれ、道路交通の安全性向上が期待。

【事故類型（H10～R4）】



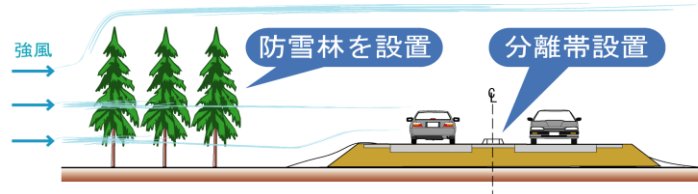
【致死率（H10～R4）】



資料：イタルダデータ（H10～R4）
冬期は1～3、12月

対策内容

- ・防雪対策として防雪林等を設置
- ・正面衝突事故防止のため、中央分離帯を整備



防雪林整備



中央分離帯（防護柵）